

行政評価シート(事後評価)

| | | |
|---------------|------------------------|-------------------|
| コード 5-2-12 | 事務事業名 介護保険施設きらら運営事業 | 所管部課 福祉部高齢者支援課 |
|---------------|------------------------|-------------------|

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 事務事業の概要 | 事務事業の目的 | 根拠法令等 | |
| | 認知症を含む在宅の介護又は支援を要する高齢者等に対して、介護保険法に定める通所サービスを提供することにより、高齢者等及びその家族の福祉の向上を図ることを目的としている。 | <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領 | |
| | 事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等 | | |
| | 介護保険法の要支援及び要介護の認定を受けた在宅の利用者が、日帰りで施設に通い、可能な限り自立した居宅生活が営めるよう必要な援助をする。同様な市設置民間運営のデイサービスセンターは他に2箇所あり、サービス内容は、送迎、食事、入浴、機能訓練、趣味創作活動等を実施している。また、収入として介護保険法の定めにより、介護報酬と1割の利用者負担金及び食事の提供に要する費用等の実費負担がある。 なお本事業は、運営は委託し、施設維持管理については市が実施している。 | | |
| 事業開始時期 | 12 年度 | 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 () |

| 事業費データ | 項目 | 単位 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|--------------------------------|----------------------|----|---------|---------|---------|---------|
| | 事業費(A) | | 千円 | 116,437 | 118,480 | 125,245 |
| 財源 | 国庫支出金・都支出金 | | | | | |
| | 地方債 | | | | | |
| | 内: その他 (介護報酬・利用者負担金) | | 60,313 | 54,952 | 58,498 | |
| | 一般財源 | | 56,124 | 63,528 | 66,747 | 122,922 |
| 所要人員(B) | 人 | | 0.40 | 0.40 | 0.25 | 0.25 |
| 人件費(C)=平均給与×(B) | 千円 | | 3,274 | 3,264 | 2,040 | 2,040 |
| 臨時職員等賃金(C') | 千円 | | | | | |
| 総コスト(D)=(A)+(C)+(C') | 千円 | | 119,711 | 121,744 | 127,285 | 124,962 |
| 単位当たりコスト (E)=(D)/ () 利用延人数 | 千円 | | 17 | 19 | 17 | #DIV/0! |

| 評価指標の設定 | 活動等指標 | | 単位 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|---------|---|-----|----|-------|-------|-------|-------|
| | 稼働率 | 実績値 | % | 70 | 59 | 67 | |
| | 開所延日数 | 実績値 | 日 | 294 | 294 | 295 | |
| | (指標の説明・数値変化の理由 など) 1日あたりの利用可能枠(定員)に対する年間平均稼働実績 年間営業延べ日数 | | | | | | |
| | 成果指標 | | 単位 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
| | 一 次 利用延人数 | 目標値 | 人 | | | | 7,500 |
| | | 実績値 | 人 | 7,171 | 6,383 | 7,338 | |
| | 二 次 本人の満足度 | 目標値 | % | | | | |
| | | 実績値 | % | | | 88 | 90 |
| | (指標の説明・数値変化の理由 など) (一次) デイサービスを利用した年間延べ利用者数。定員の単位が1日から1月となったため、キャンセルを見越した利用者登録が出来るようになったことで、実績がアップした。 (二次) 利用者アンケート(第三者評価による)有効回答者88人の「大変満足」「満足」と回答した人の割合 | | | | | | |

| | | |
|-------|--------------------------------|---|
| 事業環境等 | 市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など) | 第三者評価による利用者等の満足度等アンケート調査の結果、「いつもあたたかく親切にしてもらっている」「細かい対応や優しい雰囲気、よく考えた企画が常にあり素晴らしいと思う」とした回答があり、満足度は高く、「不満」「大変不満」と答えた利用者はみられない。 |
| | 都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など) | <input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 各市とも公設民営で同様なサービスを実施している。 |
| | 代替・類似サービスの有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 社会福祉法人等の民間事業者でデイサービスを実施している。 |

| | | |
|--------|---------------|-----------|
| コード | 事務事業名 | 所管部課 |
| 5-2-12 | 介護保険施設きらら運営事業 | 福祉部高齢者支援課 |

【一次評価】

| 検証項目 | ランク | | 一次評価 | 判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等 |
|-------------|-----|--|---|---|
| 事業の優先度(緊急性) | 2 | | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 | <p>平成12年6月開所以来、8年間委託先を変更していない、通常単年度の競争が原則であるものの、福祉施設としての特殊性から、同様なサービスを継続かつ安定的に提供する必要から今日に至っている。しかし今後将来にわたり継続することは出来ないことから、平成22年4月を目途にサービスの向上と経費の縮減を目的とし、企画提案方式による競争で新たな事業委託先を選定し、事業の改善を図る予定である(平成18・19年度において、他の通所介護施設2箇所の委託先変更を実施し、サービスの向上及び経費の縮減を実現している)。ただし、民間のデイサービスセンターでは経営上介護報酬単価が低い軽介護者の受け入れに消極的な実態から、その受け皿としても引き続き公設民営形式でのデイサービス事業自体は継続すべきである。</p> |
| 事業の必要性 | 2 | | | |
| 事業主体の妥当性 | 2 | | | |
| 直接のサービスの相手方 | 2 | | | |
| 事業内容等の適切さ | 2 | | | |
| 受益者負担の適切さ | 3 | | | |
| 市民ニーズの把握 | 3 | | | |

【二次評価】

| 検証項目 | ランク | | 二次評価 | 判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等 |
|-------------|-----|--|---|--|
| 事業の優先度(緊急性) | 2 | | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 | <p>市立のデイサービスセンターは市内に3施設あり、事業運営を市内社会福祉法人に委託し、介護保険の通所介護サービスを実施している。介護保険事業は、既に民間事業者等が中心となつてはいるが、比較的低度の軽い利用者向けの施設として、市が公設民営によりデイサービス事業を実施する必要性はあるものとする。</p> <p>一方、事業の運営状況については、谷戸と田無の2施設が既に委託先の見直しを行い、サービスの向上や経費の縮減などを行っているのに対し、きららについては平成12年の開設以降委託先の変更を行っていない。このため、今後は、競争性をもって新たな事業委託先の選定を行い、サービスの向上や経費の縮減を図り、より一層効率的な運営に努める必要がある。</p> |
| 事業の必要性 | 2 | | | |
| 事業主体の妥当性 | 2 | | | |
| 直接のサービスの相手方 | 1 | | | |
| 事業内容等の適切さ | 1 | | | |
| 受益者負担の適切さ | 3 | | | |
| 市民ニーズの把握 | 3 | | | |

【行革本部評価】

| 行革本部評価 | 判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等 |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 | <p>民間のデイサービスセンターでは介護報酬単価が低い軽介護者の受け入れに消極的な実態があることから、比較的低度の軽い利用者向けの施設として、市が公設民営によりデイサービス事業を実施する必要性はあるものとする。しかし、本施設は、平成12年度の設立以来委託先の変更を行っておらず、他の市立のデイサービスセンター2施設が委託先の見直しによりサービス向上や経費削減などに取り組んでいることを踏まえると、今後は、複数の社会福祉法人から委託業者を選定するなど、競争性の導入による効率的な運営や事務改善の可能性について検討されたい。</p> |